

フィリピン国中央ミンダナオ高規格道路整備事業  
(カガヤン・デ・オローマライバライ区間)  
(協力準備調査(有償))  
ドラフトファイナルレポートに対する助言

**助言案検討の経緯**

ワーキンググループ会合

- ・日時：2024年4月5日(金) 13:59~17:04
- ・場所：JICA 本部及びオンライン (Teams)
- ・ワーキンググループ委員：東委員、田辺委員、錦澤委員、長谷川委員
- ・議題：フィリピン国中央ミンダナオ高規格道路整備事業(カガヤン・デ・オローマライバライ区間)(協力準備調査(有償))に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
  - 1) CMH\_DFR
  - 2) CMH\_EIA
  - 3) CMH\_EIA\_Annexes
  - 4) CMH\_IPP
  - 5) CMH\_RAP
  - 6) 【SC案助言対応表】フィリピン国中央ミンダナオ高規格道路整備事業(カガヤン・デ・オローマライバライ区間)(協力準備調査(有償))
  - 7) 【SC案時回答表】フィリピン国中央ミンダナオ高規格道路整備事業 SC案
  - 8) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第155回委員会)

- ・日時：2024年4月12日(金) 14:00~16:38
- ・場所：JICA 本部及びオンライン (Teams)

上記の会合にて助言を確定した。

## **助言**

### **全体事項**

1. 環境対策が講じられない場合だけでなく、環境管理計画で、具体的に提案された防止策・緩和策が実施された場合に想定される環境影響の予測・評価についても FR にて言及すること。
2. 環境対策費用の積算にかかる方針および、同費用を含んで経済評価されたかを FR にて記述すること。

### **環境配慮**

3. 環境影響の観点から、影響予測条件として採用したモデルより静音性能の高い重機の使用が推奨されることを FR に記述すること。
4. 洪水が過去に発生しているエリアならびに発生リスクが高いことが想定されるエリアと重なる区間については、道路構造物の洪水被害ならびに下流域での洪水被害をできる限り回避できるよう詳細計画策定段階で考慮することを実施機関に申し入れること。

### **社会配慮**

5. 先住民族の生計向上策としてのトレードセンターの設置にあたっては、販売ニーズや販路を慎重に確認して必要性を検討するように実施機関に申し入れること。
6. 既存の ADSDPP (Ancestral Domains Sustainable Development and Protection Plan) の事例を脚注など FR において記述すること。
7. 路肩の確保が予定されていない横断道で地域住民の自動車以外での利用が想定される場合は、安全対策をとるよう実施機関に申し入れること。

### **ステークホルダー協議・情報公開**

8. 移転地の決定にあたっては、詳細計画策定段階においてステークホルダー協議を開催し、移転住民のニーズに配慮することを実施機関に申し入れること。
9. 詳細計画策定段階において予定されている住民を含めたステークホルダー協議は、できる限り丁寧で複合的な聞き取りの機会とするよう実施機関に申し入れること。
10. 先住民族を含む地域住民が利用する水源については、その位置の確認ならびに周辺で行う工事や土地改変、ストックヤードの不適切な管理による水質への著しい影響が生じないように詳細計画策定段階において考慮するよう実施機関に申し入れること。

以 上